

STOP WATCH

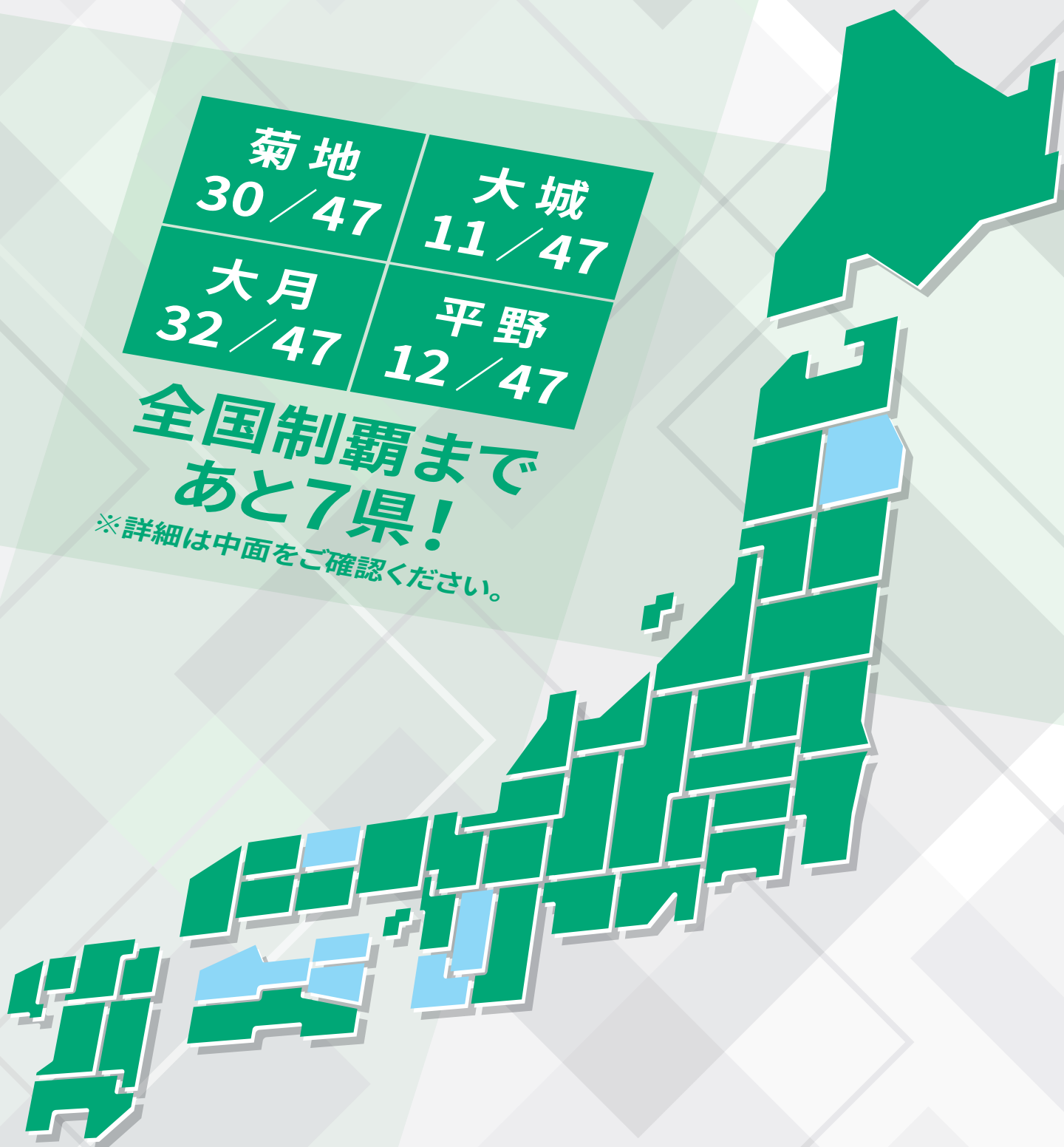
COMMUNICATION SERVICE PROVIDER

2026 AUGUST Vol.46

菊地 30 / 47	大城 11 / 47
大月 32 / 47	平野 12 / 47

全国制覇まで
あと7県！

※詳細は中面をご確認ください。



今年も全国へ、出張最前線

今年は、コロナ明けすぐと比べて社員の出張回数の増加が顕著だ。企業の周年記念式典やアワードなどが東京以外で開催される機会も多く、今年前半だけでも仙台、大阪、金沢をはじめ、全国10都市以上へ遠征した。担当社員は、業務終了後に街へ足を運び、その土地ならではの名物や郷土料理を味わい、英気を養っているらしい。こうした状況を受け、社員がこれまでに出張した都道府県を改めて調査し、その結果を本号の表紙デザインに反映した。調査の結果、最多の社員は32都道府県を訪れている一方、いまだ社員が訪れていない県が7県あることも判明した。なかでも、海の幸やうどんをはじめ、数多くの名物を有する四国への出張実績がない点は実にもったいない。

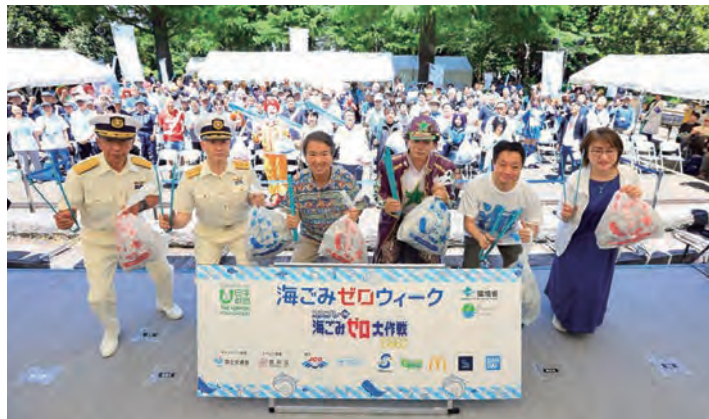
今後は四国での仕事を実現できるよう、企画提案の段階から積極的に「四国推し」でアプローチしていきたい。



街から始まる海ごみゼロ

海洋ごみ問題への理解促進を目的とした「海ごみゼロウィーク」キャンペーンの初日イベントが開催され、弊社は会場運営を担当した。当日は初夏らしい強い日差しが降り注ぐ中、池袋駅近くの公園に約300名のコスプレイヤーが集結。弊社は受付や誘導、ステージへ登壇するVIPに関わる安全管理などを円滑に進行し、参加者が安全に清掃活動へ取り組める環境づくりを支えた。

個性豊かなキャラクターに扮した参加者が街中でごみを拾う姿は多くの来街者の目を引き、笑顔で声を掛けられる場面も見られた。楽しみながら環境保全に取り組む新しいスタイルのイベントは、街全体を巻き込んだ啓発活動として大きな賑わいを見せ、海洋ごみ問題を身近な課題として考えるきっかけとなる一日であった。



才気煥発

▽7月28日に発生した令和8年熊本地震は最大震度7という大規模災害。被害の程度も甚大と目を追うごとの報道で知ることになる。中でも「イオンモール熊本」のガス爆発を伴った事故は殊更に大きく報道され、我々商業施設内で仕事をしているものとしては他人事ではない事態である。▽国内の多くのショッピングモールが災害時の緊急避難所の役割を担っているという。そんな中、死者を出す事故に発展した今回の事態は業界のみならず社会や街づくりのあり方をも大きく再検討される要因となるはず。▽報道による

とモールの建築構造的には流石にガス爆発を防ぐだけの強度は保たれていないらしい。さすがにどんな建造物も（原発などは別として）ガス爆発は想定していないのわかるし、過去にもそういう事故は起こらなかったらしい。まさかの想定外ということが起こりうるのが現実というものなのだろうか。今後は地震発生後に直ちに店外に避難するようなマニュアルになるのかもしれない。▽ご当地ではさらに連日の酷暑が続ぎ、市民にとっては不安と不便と逆境のるつぽ、何もしてあげられない自分が歯痒い。今までも多くの地震

による二次被害は想像を絶する悲惨なものと察するが、その事故後対策はもとより、日頃の対応に我々の業界も何かできないだろうかと災害発生のために思い、喉元を過ぎて熱さを忘れていた。停電下での発電ワークショップとか、車中泊実演デモ、断水時のトイレ作り体験、等等・・・ネット情報や情報番組などでは頻りに紹介されるものだが、リアル体験イベントとしてはどうだろう。他人事とせず、ショッピングモールに提案してみるべきだろうか。

弊社が運営する子供の遊び場施設が「TENANT OF THE YEAR 2025」受賞！

このたび、弊社が運営する子どもの遊び場施設が、横浜市内の商業施設において「TENANT OF THE YEAR 2025」を受賞した。2年ぶり4度目となる今回の受賞は、施設内の全テナントを対象に、集客への貢献や接客品質、お客様満足度などを総合的に評価し、特に優れた実績をあげた店舗に贈られる賞である。今回の受賞は、昨年実施した店舗リニューアルを通じて、より快適で安全な遊び環境の整備を進めるとともに、お子さまの成長や好奇心を育む遊びの充実に取り組んできたことに加え、ガイド一人ひとりがお客様に寄り添った接客を継続し、安心して利用できる施設運営を実践してきたことが総合的に評価されたものである。今後も、お子さまとご家族に安

心して利用いただける遊び場の提供を通じて、より高い顧客満足の実現とサービス品質の向上に努めるとともに、「日本一の遊び場」施設づくりを推進していく。



まっさらな情熱と頼もしい経験を兼ね備えた、4つの個性が新たに加入！

弊社では今年、新卒1名と中途3名の新戦力が加わり、社内に活気あふれる新しい風が吹き込んでいる。事業推進室の狩野龍樹は、久々となる期待の男性新入社員。明るく人懐っこい人柄に加え、式典現場での突然の無茶ぶりにも動じない度胸をすでに発揮しており、今後の成長に期待が高まる。クルーマネジメント部店舗配属の中途3名も実に頼もしい。向上心の塊である朝倉千愛希は、

店舗責任者として「日本一笑顔の溢れる店舗づくり」を掲げる。経験豊富なマネージャーの橋本郁代は、前向きな姿勢と豊富な実績でチームを力強く牽引。6月に北海道から上京した田村妃和理は勤勉な努力家で、他部署からのヘルプ依頼が絶えない人気者だ。個性が光る4名が紡ぐ新たな挑戦に、ぜひご期待いただきたい。



広がるKPO事業、新たな一歩へ

この春弊社のKPO事業に新しく2店舗が加わった。まず愛知県犬山市には東海地区2店舗目となる「わん!だーランド」が誕生した。登ったりすべったりが自由に遊べる「わんコロくん」が子ども達に大人気だ。毎月当社から提案している制作案で6月に提案をした「てるてる坊主」は176体も集まり、個性あふれる「てるてる坊主」達は店内を彩り、多くのお客様の注目を集めた。次に、成田空港には、キッズプレイスオペレーション店舗初の空港内店舗が誕生。空港ならではの多様なお客様や天候の変化など、様々な「初めて」に挑戦する店舗となっている。屋外直結型店舗でもあり、展望デッキにつながる屋外スペースには、飛行機を見に来た子ども達はもちろん

保護者にも大人気のエリアとなっている。来港者にとって空港という非日常な場所だからこそ、一組ひとくみのお客様との出会いを大切に、記憶に残る店舗を目指す。



アルファノヒト

ALPHA NO HITO

毎号、スタッフアルファの「ヒト」にフォーカスしてご紹介する本コーナー。
今回は製造業、エンジニア等様々な業界を経験してきたクルーマネジ
メント部 藤田賢也にインタビューを行った。

「仕事をやる際に意識していること、大切にしている事はありますか？」
常に「相手の期待を超えること」を意識しています。目の前の作業をこなすだけでなく、お客様や働くガイドが何を求めているのかを考え、一歩先を見据えて行動することを大切にしています。

「SAの仕事に就いてやりがいを感じる瞬間を聞かせて下さい。」
クルーマネジメント部になってから感じるやりがいは、子どもたちの笑顔と保護者の安心をつくり出せることです。日々の経験を通じて自身も成長し、一人では実現できない価値をチームで創り上げ、お客様から「ありがとう」、「また来ます」と言っていただけの瞬間は、この仕事の大きな魅力の一つだと思います。

「スタッフアルファ(以下SA)に入社した理由を教えてください。」
新卒でイベント業界には進むことは無かったですが、大学時代からボランティアの1つとしてチャリティーパーティの受付や進行補助をしておりました。その後、松山社長にボランティア活動を通じて出会い、転職を考えていたタイミングでもあったので、社長のお話を聞いて「面白そう」と思い転職を決意しました。

「これまでで印象に残っている案件やエピソードがあれば教えてください。」
一番印象に残っているのはロボティクス系企業様の進行案件ですね。初めて担当した案件でもあり準備段階では様々なことを上司に確認し調整しながら進めました。当日の現場では様々な

また、安全を最優先にしながら、チームワークと責任感を持って取り組み、改善を積み重ねることで、自分自身も成長し続けられるよう心掛けています。



株式会社スタッフアルファコミュニケーション
クルーマネジメント部

藤田 賢也 (ふじた けんや)

Profile

身：千葉県
入社年度：2023年11月入社
趣味：釣り、料理
好きなもの：チョコボール (ピーナッツ)

「仕事に忙しい時のリフレッシュ方法や、モチベーションの保ち方を教えてください。」
リフレッシュ方法はちゃんと寝ることだと思います。多少連動が続いても12時頃には寝るようにして、毎日7時間ぐらいい睡眠をとるようにします。またお客様から「ありがとう、また来るね」と帰り際に仰っていただいた時は今日も良い接客ができたなと嬉しくなりますし、また明日も頑張ろうと励みになります。

「今後チャレンジしたいこと、取り組んでみたい企画はありますか？」

子どもたちの「また来たい!」を増やせるような、季節感や地域性を取り入れた体験型イベントを企画してみたいです。また、保護者の方にも楽しんでいただける参加型イベントやワークショップを実施し、家族みんなで思い出をつくれる空間づくりに挑戦したいと考えています。店舗の魅力向上とリピーターの増加につながる企画を積極的に発信していきたいです。

「スポーツ文化制作部↓CM部への異動後の変化はありましたか？」

異動後に感じた変化は、今まで以上に利用するお客様との距離が近くなったように感じました。今までもお客様と接することはありましたが、1つのイベントでの場面でのことが多く、長期的に同じ場所ですれ違うというところは少なかったのとお客様に顔を覚えてもらって声を掛けてもらったりする頻度は増えたように思います。

「店長として気をつけていることを教えてください。」

店長として心掛けているのは、ガイド一人ひとりが安心して力を発揮できる環境をつくることです。現場ではなるべく見守る様にし、困った時にはすぐに相談できる関係づくりを大切にしています。また、お客様満足と安全を最優先に考えながら、チーム全員が同じ目標に向かって成長できるように、コミュニケーションをとるように努力しています。

スタッフアルファの Facebook®

スタッフアルファはいまFacebookが大きな盛り上がりを見せています。
長年親しんできたブログを卒業し、Facebookへ本格シフト!
オフィスでのちょっとした出来事や現場的一幕など、「SAの日常」を楽しくタイムリーにお届けしています。

